

品質表示

外形寸法	幅 1150～1750mm × 奥行き 555mm × 高さ 598～1248mm（本体のみ）
重量	17kg
支柱サイズ	50 mm × 80mm
上部プレート	幅 546mm × 奥行き 20mm × 厚み 50mm
下部脚プレート	幅 555mm × 奥行き 60mm × 厚み 25mm

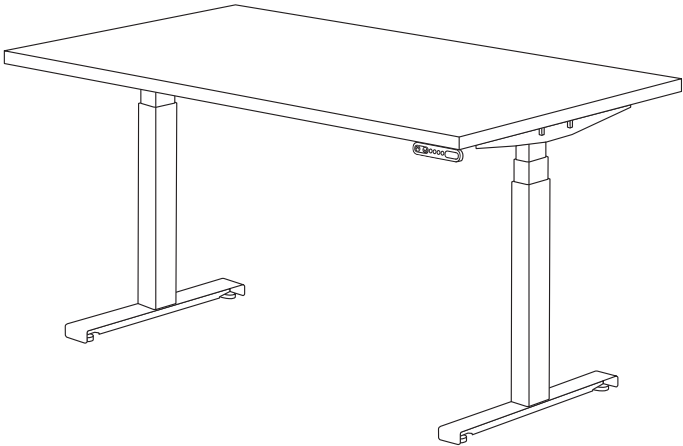
甲板の表面材	金属（スチール）
表面加工（金属）	粉体塗装
耐荷重	130kg

保証について

本製品の保証期間は、商品のお届け日から1年間です。
保証期間内において、通常のご使用方法によって自然発生した故障は、部品交換または商品交換をさせていただきます。一部有料で交換対応させていただく場合もございます。詳しくは右のQRコードよりKANADEMONOの保証制度をご確認ください。



KANADEMONO



LFT-K13-BK / LFT-K13-WH 取扱説明書

本書は正しく安全にお使いいただくためのガイドブックです。この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解した上でご使用ください。また本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

この度はKANADEMONOの製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
安全にお使いいただくために、ご使用前に注意事項および取扱説明書を最後までよくお読みください。万が一、商品に不具合があった場合、**【お客様のお名前】****【ご注文番号】**をご記載の上、**【不具合箇所の写真】****【箱のステッカー】**の写真と一緒に下記カスタマーサポートまでご連絡ください。商品の返品・交換時には、お届け時の梱包材をご使用の上ご返送くださいますようお願いいたします。お届け時の梱包材を処分されないようご注意ください。

KANADEMONO
カスタマーサポート窓口：<https://support.kanademono.design/> 営業時間：10:00～17:00（平日のみ）

⚠ 取扱い注意事項

❗ ご利用いただく前に必ず取扱説明書をお読みください。弊社は不適切な使用を原因とする人体におけるケガやモノの損傷についての一切の責任を負いません。

- 電源を切ったあとや使い始めの際はマニュアルでのリセットが必要です。
- 説明書やパッケージなどを保存することをおすすめします。
- 巻き込みによるケガを防止するために動作中は手やその他の体の部位が安全な位置にあることに注意してください。
- 高さ調節時、お子様やペットが近づかないようにしてください。モーターの誤作動などを防ぐ為、雷雨時や長時間使用しない場合は電源コードを抜いてください。
- 天板が壁に触れないように離してお使いください。昇降時に天板と壁が擦れて傷などがつく恐れがあります。
- 天板の軌道上に上下 50cm ずつ障害物がないよう確認してください。
- 動作環境は 0-40℃ です。また腐食性のあるガス、液体、埃っぽいものから本製品を離してご使用ください。故障の原因となります。
- 不具合や電気部品によるケガなどを防止するため、本製品の分解・解体はしないでください。
- 電源プラグやコンセント周りのゴミや埃は定期的に取り除いてください。
- 屋外や水のかかるところなどでは絶対に使用しないでください。また濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 全ての部品を組み立てたことをご確認の上ご使用ください。
- 駆動装置とブレーキ装置のため昇降時軽い音がしますが、故障ではありませんので安心してご使用ください。
- 電源コードを傷つけないでください。また電源コードが傷ついた状態で絶対に使用しないでください。
- アジャスターを調整する時、手や脚を挟まないように大人 2 名以上で操作を行ってください。
- お子様にはデスクの操作や清掃などをさせないでください。
- 昇降操作中は脚などの可動部には絶対に触れないでください。

⚠ 組立てに際しての注意事項

- 組立てる前に部品、不足部材がないかご確認ください。
- 組立てしやすい場所を確保してください。
- 組立て手順に従って組立ててください。
- 毛布等を敷くなど、床や家具にキズを付けないようご注意ください。
- ケガや本体破損防止のため必ず 2 名以上で作業を行ってください。



所要時間 15 分



組立て人数 2 人



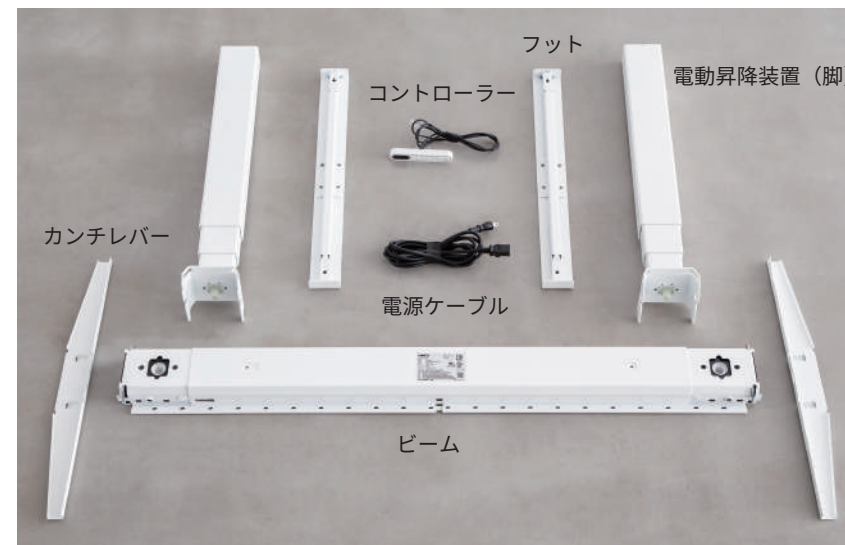
必要な工具

- ・電動ドライバー
- ・プラスドライバー

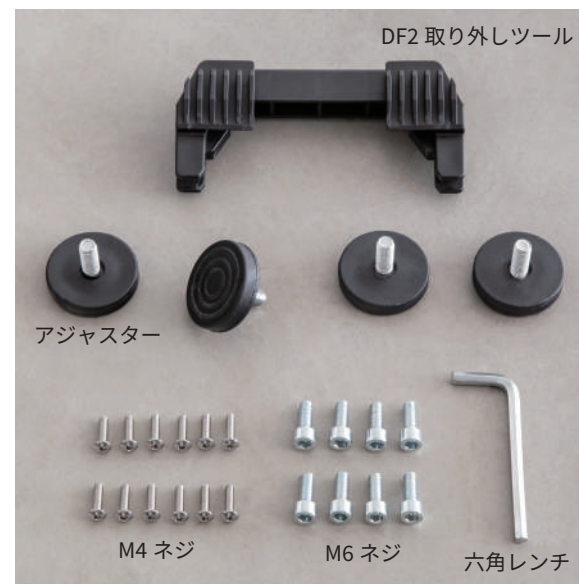
部品・本体パーツ

※組立てる前に部品、部材をご確認ください。

○本体パーツ



○部品



※脚単品でご購入の方は、天板との組付にこちらのネジをご使用ください。

組立て手順

1

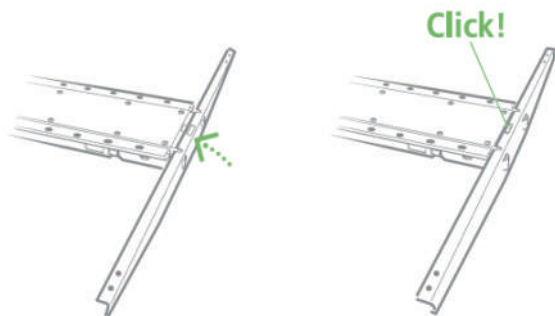
天板幅に合わせてビームの長さを決めます。
天板を裏返し、天板幅に合わせてビームの幅（長さ）を調節します。



※ビームは引き伸ばし過ぎないでください（最大 1750mm）。ビームに内蔵されているドライバーシャフトの外れにつながります。ビームを引き伸ばす際は、ゆっくりとなるべく**左右均等に引き伸ばし**するようにお願いいたします。
※勢いよく引き伸ばしたり、ビームを立てた状態で片側を伸ばすと内部パーツの破損につながる可能性があります。
※ビーム幅の最小は 1150 mm です。その次は、1250mm-1750 mm の間で 50 mm 刻みで 調節可能です。

2

カンチをレバーを固定します。
カンチレバーをビーム端上側のツメに合わせます。その際カンチレバーは若干内側に傾きます。（下記図左側を参照）
カンチレバーを“カチッ”と音が鳴るまでサイドから押すと、ロックが固定されます。
反対側も同様に固定します。



※カンチレバーが正しく取り付けられていることをご確認ください。
※カンチレバーを引っ張ってビームを伸ばさないでください。

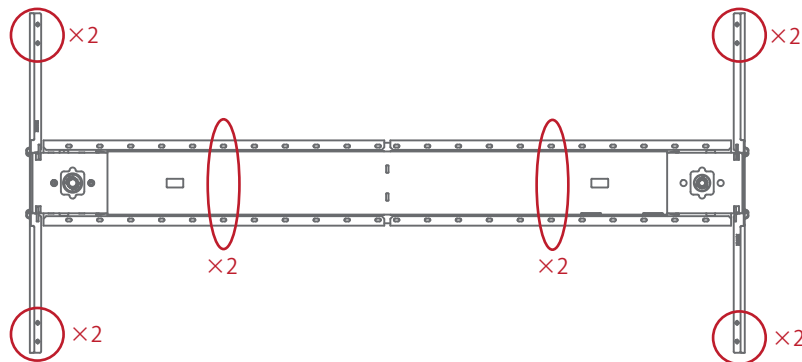
3

天板上でカンチレバー付ビームのセンターを決めます。（メジャーで計測）
天板裏へあらかじめ固定用の穴が空いているので、そこに合わせて長さを調節してください。

4

天板とカンチレバー付ビームを固定します。（12 カ所ネジ止め 下記図参照）
固定する前に、一度電源ケーブルをビームに挿し込み、挿し込み口がビームに隠れないよう調整してください。

※脚単品でご購入の方は、天板へ穴開けを行い、組付に木ネジをご使用ください。天板への穴の開け方は、こちらをご確認ください。



M4 ネジ × 12

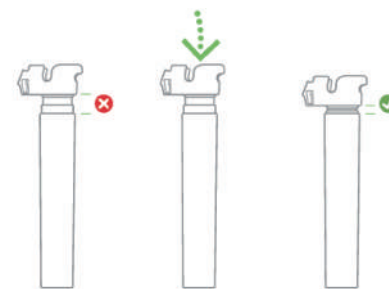


木ネジ × 12



5

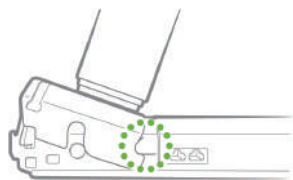
電動昇降装置を取り付けます。
電動昇降装置（脚）が一番縮まった状態であることを確認します。



※脚が一部伸びている場合は、ひっくり返した状態で脚を手で押すと縮めることができます。

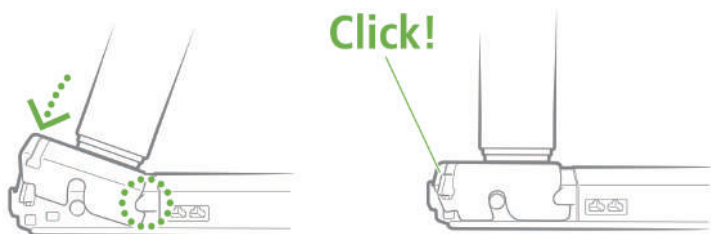
6

脚を傾け、ビーム上の出っばりに合わせます。



7

傾いている脚を**勢いよく**平らに戻します。そうすると、脚本体の取り付けプレートがはまり、両サイドのツメで固定されます。



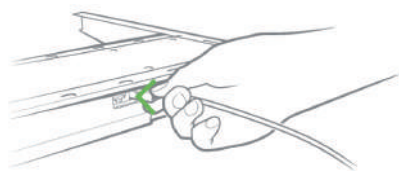
※脚取り付け後、ツメの出方が小さい or 全く出てこない場合には脚本体を外側に押しいただくと改善される場合があります。

※ツメの出方が小さい場合でも、ツメが見えている状態かつ脚本体を揺らした時ぐらつきや外れるといったことがなければそのままご使用いただけます。ただし、全く出ていない場合には一度取り外し（取り外し STEP 6-7 参照）、再度組み立てを試みてください。

8

コントローラーを取り付けます。

コントローラーを RJ45 ソケットどちらかに挿し込み、コントローラーを天板に固定します。



※コントローラーは、一度に 1 個のみ挿し込んでください。

コントロールパネル取り付け部品がパネルに装着されていることを確認し、電動ドライバーを使って、付属のビス (D4.0×L20) にてパネルを使いやすい位置に固定してください。この時、付属のビスの長さにご注意ください。誤って長いビスを使うと天板を貫通する恐れがあります。

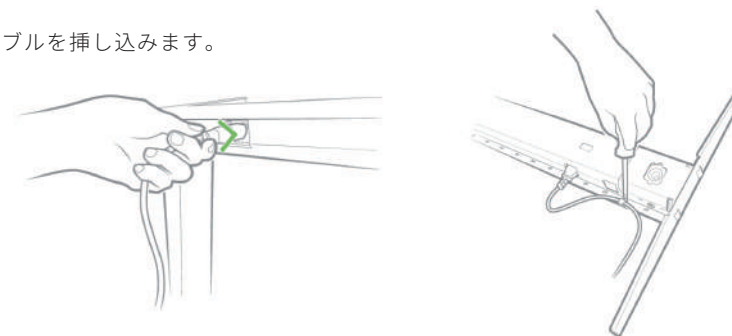


コントロールパネル
取り付けネジ ×2



9

電源ケーブルを挿し込みます。



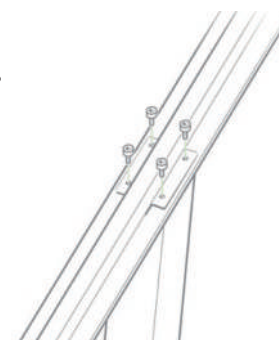
※ケーブルクランプで天板に固定する場合は、ケーブルにゆるみを持たせてください。

10

フットを取り付けます。

M6 ネジ x 8 本で取り付けます。

M6 ネジ



※DF2L06 には、M6 x4 と M8x2 のネジ穴があいています。

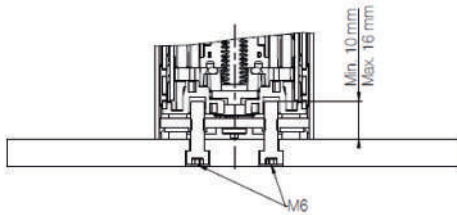
取り付けには、次の仕様の M6 x4 または M8x2 をお使いください。

強度区分 : Min. 8.8 長さ : Min. 10 mm (+ フットの厚み) ; max. 16 mm (+ フットの厚み)

11

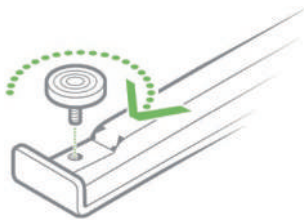
ネジを締めます。(トルク : max. 10 Nm)

M6 ネジ



12

フットにアジャスターを取り付けます。



13

テーブルを起こし、電源ケーブルをコンセントに挿し込み完成です。

取り外し手順

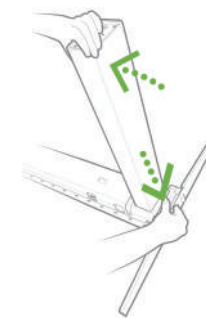
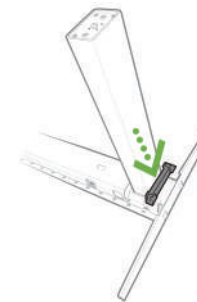
※取り外し動画も合わせてご確認ください。
(https://vimeo.com/352241636?embedded=true&source=vimeo_logo&owner=11673319)



DF2 取り外しツール (品番 SA1023W1241)

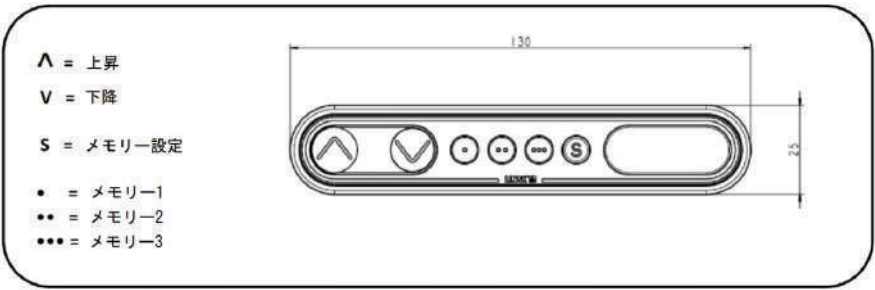
※取り外しツールは片側だけ凹凸部分があります。

1. デスク高さを一番縮めた状態にします。
2. 電源ケーブルをコンセントから外します。
3. テーブルをひっくり返します。
4. コントローラーを外します。(挿し込み口から外す・ネジを外す)
5. フットを外します。(ネジを外す)
6. 取り外しツール凹凸部分側を外側にし、カンチレバーとビームのすき間に入るようにセットします。
7. 取り外しツールを真下に押し込み、ツメのロックを外します。そうすると、カンチレバーの固定が緩みます。同時に、脚を傾け、ビームから外します。



8. DF2 ビームを天板から外します。(ネジを外す)
9. カンチレバーを軽く揺らしながらビームから外します。

コントロールパネルの操作方法



□ 上昇・下降（ボタン△▽）

上昇ボタン（△）・下降ボタン（▽）を押すと上・下に動作します。ボタンを離すか上限・下限位置またはセーフティストップ設定位置に達すると動作が止まります。

□ デスク高さ表示初期設定方法

1. 上昇（△）・下降（▽）ボタンを同時に約 5 秒押すと、『 - - - 』が点灯した後、現在設定されているデスクの高が表示されます（出荷時は 68cm で設定してあります）。
2. 上昇ボタン（△）・下降ボタン（▽）を押して、表示されている数値を実際のデスク高さに合わせてください。
3. ボタンから指を離して約 5 秒経つと、表示されている数値が点滅し、高さ初期設定が完了します。

□ メモリー設定（お好みの高さ 3 ヶ所を記憶させておくことができます）

1. メモリーに記憶させたい高さにデスクを合わせます。
2. S ボタンを押すとディスプレイに『S』が約 2 秒間点滅表示されます。
3. その 2 秒間の間にメモリーボタン（1・2・3 のいずれか）を押すと、ディスプレイに S と押したメモリーボタンの番号（『S1』『S2』『S3』）が表示され、高さが記憶されます。

□ メモリー設定位置へ動作

設定済みのメモリーボタン（1・2・3 のいずれか）を押すと、記憶されている高さまで動作します。設定高さに達するまで、ボタンを押し続けてください。

□ デスク高さ表示機能

ディスプレイにデスク高さを cm で表示します。

□ デスクリフトシステム初期化の方法

システム組み付けおよび電源配線後、デスクリフトを最も縮めた状態で、下降（▽）ボタンを長押ししてください。デスクリフトが約 1mm 下がり、元の位置に戻って停止した後、初期化が完了となります。

※この初期化はデスクリフト（脚部分）の原点を確認する作業で、システムを適切に動作させるために必要な操作となりますので、初回設置時には必ず行ってください。
また、デスクリフト・モーターケーブルの交換（ケーブルの抜き差し）をした後やシステムが想定していない動作をした際などにもこの操作が必要となります。

エラーコード一覧

エラーコード	内容	対処方法
E01	メモリー設定位置が不明のため、初期化が必要です。	初期化を行ってください。 （初期化中もこのコードが表示されます。）
E02	上昇方向に過負荷がかかっています。	負荷を取り除き、再度操作してください。
E03	下降方向に過負荷がかかっています。	負荷を取り除き、再度操作してください。
E16	誤ったボタンが押されています。	・昇降スイッチのボタンが押されたままになっていないかを確認してください。 ・初期化を行ってください。作動しない際は販売会社にお問い合わせください。
E90	製品の温度が高くなりました。操作はできません。	製品の温度が下がるまで操作はしないでください。電源を挿した状態で 2 時間放置してください。
E92	電圧が高すぎます。	正しい電圧（100v）か確認してください。
E93	挟み込み防止センサーが作動しました。	昇降時の妨げになるものがないか確認してください。あれば取り除いてください。